

2017.1.22 江南市地域福祉懇談会

「地域福祉活動の必要性」

日本福祉大学 健康科学部
柏原 正尚

1. 地域福祉の必要性

1)「地域福祉」とは

地域社会における福祉の問題に対し、その地域の住民や福祉関係者などが協力して取り組んでいこうという考え。

2)「地域福祉の推進」

地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は、地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会があたえられなければならない。(社会福祉法第4条)

②人々の「日常生活の営み」を考える

○「ノーマライゼーション」の理念

誰もが普通の生活を営めるような地域社会を作っていく。

○生活の質(QOL)

安全さ・快適さ・人間らしさの3要素。

3)「市町村地域福祉計画」

市町村は、地域福祉の推進に関する事項を一体的に定める計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、住民、社会福祉を目的とする事業を営業者その他社会福祉に関する活動を行う者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるよう努めるとともに、その内容を公表するよう努めるものとする。

(社会福祉法第107条)

「地域福祉の推進に関する事項」とは

1) 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項

2) 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項

3) 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項

(社会福祉法第107条)

2. 住民が地域で安心して過ごすために

- ①一人ひとりのニーズに応じて、医療や介護のみならず、様々な生活支援サービスが日常生活の場で用意されていること
- ②同時に、サービスがバラバラに提供されるのではなく、包括的・継続的に提供できるような地域の体制が出来ていること
- ③地域住民のニーズに応じて医療・介護・福祉サービスなどを適切にコーディネートし、適時に供給する体制が必要

3. 地域福祉推進に求められる計画とは

- ①計画策定主体である行政が、地域における福祉の問題及び様々な生活支援サービスの現状を住民や福祉関係者らと共有する
- ②必要なサービスが包括的・継続的に提供できる体制を行政、地域住民、福祉関係者ら協働で検討する
- ③どんなエビデンスに基づき、何のために取り組むのかを明確化しておく

4. 意見をまとめ、合意形成するために

- ①様々な場面で議論が活発になされた後に、創造的なコンセンサスに向けて意見(情報)をまとめていく。
- ②人々の活動がうまく進むよう支援したり、舵取りしたりするファシリテーターが重要。
☞ファシリテーションは、問題解決や学習などの活動を支援し、促進する働きのこと。

5. 地域福祉活動を考える前に



• 考え方を考える二つの方法

①内省: 自分自身の心の中を深く省みる。

☞コーチやカウンセラーが手助けしてくれる

②ファシリテーション: 相互作用を使って自分の枠を打ち破る

☞他者とぶつかり合い、互いの違いを知ることで自分の壁を悟り、新しい自分を発見していく

6. 必要な地域福祉活動を考えるために

• 集まる「場」



• 交流の「機会」



• 活動できる「人」



まとめ

• 行政、地域住民、福祉関係者らはそれぞれの立場で互いに有している情報を出し合い、計画策定プロセスの中で議論を活発化すること

• 普段の業務、日常生活のなかで感じ、考えたことが地域福祉計画の中で重要なエビデンスになりえることを理解しておくこと
